



# FRIENDS

The Friendship Force of Saitama 会報 第92号(2015)  
<http://www.h7.dion.ne.jp/~saitama/>

## ベルゲン・ソロトゥルン渡航記



2015年6月4日～6月14日



ED 大熊幸雄

その国の唯一のクラブ、ノルウェーのベルゲン・クラブ、スイスのソロトゥルン・クラブ、大変人気のある両クラブとの交換に応募者が殺到した。

ベルゲン・クラブは会員数が少ない。EDのロルフに懇願し、5家族で2名ずつ、3家族で3名ずつ、19名全員のホームステイが実現した。

世界遺産のベルゲン、ハンザ博物館、フィヨルド・ツアーとクルージング、ロルフ邸での交換会など心のもったおもてなし。ヘンリック・ママや運転手兼のロード会長の「ヨーヨーヨー」が印象深い。市内交通のバス、LRTやベルゲン図書館など公共施設が便利。

6月4日空港到着時、ホスト・チェンジのハプニングもあったが、素晴らしい交換であった。

ソロトゥルン・クラブは5月にグレーター・ミルウォークー・クラブとの交換があったのに、我々14名を4日間のストップ・オーバーで受け入れてくれた。

6月11日チューリッヒ到着。ソロトゥルンやベルンへの移動は効率的で正確なスイス鉄道を利用。

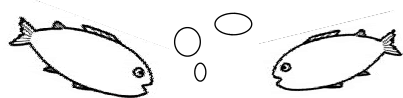
首都ベルンの旧市街、ソロトゥルンの大聖堂とマーケット広場での市、峡谷のウォーキングなど丁寧で細かいプログラムで国民性を感じた。

フリーデイには、由緒あるブルグドルフ城とエメンタールのチーズ工場に連れて行ってくれた。

ホストとはドイツの歌を共に唄い、資源の無いスイスからブラジルへの移民、傭兵の話など興味深い歴史を聞いた。

6月15日雨の中の見送り、レジーナ、マギ、トーマス、ロレンツありがとう。

ポスト交換として、12名がインターラーケン、ユングフラウヨッホ、シヨン城、レマン湖クルーズ、ジュネーブなどスイス観光を楽しんで、6月18日無事、成田に帰還した。



## Bergen Club

### 念願の再会 沼 禎昭

2013年の春にノルウェーのRolvさんとAngunnさん夫妻が、イギリスのFFブリストルとFF埼玉の交換に参加され我が家にホームステイされました。素敵なおもてなしのRolvさんとAngunnさんの姿や、真剣に習字に取り組んでおられる様子などを思い出します。この度Rolvさんのご尽力で埼玉クラブのFFベルゲン訪問が実現しました。

ベルゲン空港で愛用の赤のトヨタ車で迎えに来て頂いたRolvさんと念願の再会を果たしました。丘の上の花に囲まれた、海と島を見下ろす素晴らしいお宅に小林さんと一週間泊めて頂きました。

お二人とも以前と変わりなくお元気で、歴史のあるベルゲンの港街の世界遺産や博物館、美術館を案内して頂き、氷河がつくった素晴らしい渓谷フィヨルドや、北海油田の開発が行われているソトラ島などの観光も満喫することができました。



### 心に残るおもてなし 浜田 聖子

ノルウェーの渡航で、一番心に残ったのは、ベルゲンのホームホストのウーラグの事です。

彼女は、女手一つで娘二人息子一人を育て上げ、今も病院で、セクレタリーの仕事をパートでしています。夜に到着した私たち3人に、スモークサーモンやいろいろなチーズ、野菜サラダを用意してくれて、次の日からは自分も、クラッカーにジャムぐらいの朝食なのに、必ず野菜と食べきれないほどの食べ物などをつけてくれました。

彼女は、おしゃべりではありませんが、ゆっくりとしゃべってくれて、ユーモアもあり、奥ゆかしい人でした。ある日の夕食には、娘と息子夫婦と、二人の孫と一緒に、こんなに遅くまで大丈夫かなと思うほど、話が尽きませんでした。

彼女が、家族からとても愛されているのを感じました。彼女を休ませてあげたくて、私たちだけで、市内に出かけた日にも、いない間に私たちが買ったかった鍋敷きやシェイカーを探し回ってくれて、最後にそれをお土産で持たせてくれました。



別れの日、迎えのバスが遅れて、あいさつもよくできないまま空港で出発を待っていると、その日に午後から仕事があるのに、彼女の姿が見えたとき本当に感激で涙がこぼれました。

彼女の眼にも涙が浮かんでいました。また会えることを祈って飛行機に乗りました。

この素晴らしい出会いをくれたFFに本当に感謝です。そして私もこんな心のこもったおもてなしをしてあげたいと思います。

## Solothurn Club



### アート溢れるホームステイ

太田 和子

窓を開けると聞こえてくるのは小鳥の囀りだけ、何と長閑な処だろう。静寂、3泊4日のホームステイが始まった。カトリーヌは難民の為の独語教師、ユーリツクは庭に自作のモニュメントを置く元美術教師で家中がアートで溢れている。



会話はスイス独語だが書けないと言う。  
他に独仏英語を話し、多言語を聞くと楽しく又羨ましい。最後の1日はチューリヒ美術館に行った…昨年東京展を見たが其の美術館に美術教師と行く等予想外の至福の時だった。  
地元出身のA・ジャコメツテイから始まり東京にはない膨大な数のコンテンポラリー作品を堪能した。  
人影も疎らで日本に昨年作品を届けたと言う学芸員が日本語で嬉しそうに話しかけて来て楽しい時間を過ごした。

帰路は銀色の凄い稲妻と激しい雷雨で忘れられない日となった。  
其の光の凄さは日本と違う気がした。  
翌日は別れの日だったがソルトウルンのFFの人達の優しさ、気遣い、ホスピタリティが素晴らしく、メンバーの中の2人のお嬢さんが日本に留学中という事はスイスと、日本の距離が確実に近くなっていることを感じて嬉しい出来事だった。  
短い日々だったが楽しい時間を過ごさせて頂いた。



### 交換留学生Mikey

郡山 育子

Mikeyから高校を卒業したと先月連絡があった。ホームステイ初日北浦和駅で出迎えた留学生の中に一人緊張の面持ちの少年がいた。  
私は彼を見た瞬間このあどけない少年が我が家の訪問者。楽しみだ。両親はカンタスのキャビンアテンダント、お母さんはシドニーと日本間とフライトをし留学経験もある。彼の訪日は6度目？とは言え今回初めてのホームステイそりゃ緊張するよ。

カラオケに行こうという私に「僕は18才の未成年だから行けない！」真剣な表情だ。成る程確かにカラオケBarとも言う。  
財布を落としてしまった時は「Oh, My God! Oh, My God!」大騒ぎだ。出てきた時は歌いながら踊りながら狭い廊下を行ったり来たり。  
翌日からは埼大から帰宅するとまず財布を見せ微笑む。実に可愛い。  
4月Mikeyはやって来る。



## オーストラリア留学生受入



### 可愛いMadeline

日置 旦子

埼玉大学にシドニーから研修生が来日され、可愛い女学生の雰囲気が残るMadelineが6月28日から7月4日まで我が家にホームステイで過ごしました。  
日中は大学に行き、夕方帰って来ます。家に居る時は何時も私の傍で勉強したり、テレビを見たり、楽しく食事をして日本語と英語を交えて将来の事や、家族の事を話してくれました。将来フランスに留学したいとの事でした。何事も自分から行動する頼もしい女性でした。  
唯、朝の目覚めだけは私の声で「オハヨー！！ 朝ですよ」で始まりました。そしていよいよ帰国日の朝「2年後には私はお母さんと二人で 此処に帰って来ますから」と言われた時は ホロッときました。本当に感極まりました。



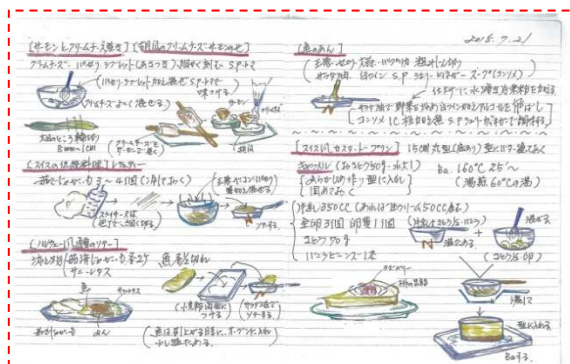
# イベント

## スイスとノルウェー料理教室 みんなで作ろう！

大成功！！ 高堂 綾



今年度FF埼玉の新しい企画第一号のスイスとノルウェー料理教室は、今年度渡航のお土産として渡航に行かれない方々もスイスとノルウェーの風を感じていただきたい思いで旅行



中、渡航のメンバーと考え悩み出したメニューです。

幸いにして沢山の皆様にご参加いただきまして、皆様にも喜んで頂き私の料理の勉強にもなりました。なんだか一石何鳥にもなった気がいたします。関係者の皆様お手伝いをありがとうございました。10月には、メキシコで美味しいお料理を学んでできます。



## 歌おう！そしてビアガーデン

### カラオケ大集会に参加して

外山竹治

「カラオケと言うよりは、うたごえ喫茶風かな」というメールの言葉に誘われて参加を致しました。企画と当日のDJを務めた大熊さんは、子供の頃の唱歌や若い頃に親しんだフォークソング、演歌を準備してくれました。

プロジェクターを使い歌詞を映し出した際には、部屋が暗くなり、なにやら小学校の学芸会の雰囲気。私はいつのまにか一生懸命に歌っていました。小学校の頃、歌が好きだった姉とよく唱歌を歌ったものです。

FFの交流で我家にホームステイしていただいたオーストラリアのケイさんのHome Dinnerの際、Waltzing Matildaを歌っていただき、返礼に日本の「故郷」を歌い盛り上がりました。

メキシコの埼玉県人会に参加した際も、会食の最後に「故郷」を歌った思い出があります。

唱歌は、お正月や桃の節句など季節にちなんだ曲や、折々の心情をつづった曲があり、強く郷愁を誘うものですね。



### お楽しみ会に参加して

恩田きよ子



久しぶりにEmailを開けたところFFからのカラオケ大会のお誘いmailがありました。

体調を少し崩して家に引き籠りがちでしたが大分良くなり、クラブの皆様にもお会いしたいと思い、申し込みの締め切りも近く迷う猶予もなく参加のレスポンスをしました。しかし、カラオケはこれまで数えるくらいしか行ったことはなく、まして人前で歌うほどの度胸も才能もない事に送信ボタンを押してから気づいたのです。

当イベントのご担当はカラオケ上級者と聞いた事があるような、又、FFの皆様はどの方も素晴らしいスキルをお持ちの方が多くきつと歌もお上手。私は隅に座って皆様の美声を堪能しましょう。最悪指名されても固辞しようと決意し会場へ向かいました。しかし今回はスクリーンに投影される歌詞と美しい映像を観ながら全員で合唱の形式で、気楽に楽しむことが出来ました。

英語の歌ばかりでなく、いわゆるJポップや青春時代を思い出させるフォークソングなどなど。次回はリクエストも受け付けるとの事ですので楽しみです。カラオケの後、食事会にも参加しました。こちらも楽しい会話で盛り上がり外は小雨模様でしたが私は晴れやかな気分になりました。



## ニュージーランドで英語のお勉強



羽島 秀子



9月14日から10月1日まで、ニュージーランドで英語を学ぶFF交換に、埼玉クラブから5名(西村(介)、渡辺(弘)、山本、羽島(継)、羽島(秀))が参加しました。石井EDがご家族の突然のご不幸でキャンセル、出発当日に後任EDとなったわが西村さんが、オール日本混成部隊6クラブ、18人をよくまとめ、無事皆帰国しました。

西村さん、本当にお疲れ様でした。

あちらはまだ早春、冬のような寒い毎日にもかかわらず、桜をはじめた多くの花々が一斉に咲き誇り、芝生や街路樹の緑もまぶしく、人口の7倍もの羊がのんびりと草を食む広大な牧場に眼を見張り…。

でも私たちには英語のスキルアップという目的があります。3クラブ(キャピテイコーストクラブ、マナワツクラブ、ウエリントンクラブ)共、それぞれに工夫を凝らした素晴らしいプログラムで私たちに英語のシャワーを浴びせます。クラフト、クッキング、ゲームを通して、また国会議事堂、教会、学校、農場、マオリ文化施設などの訪問を重ねながら、英語とニュージーランドを学びました。その成果は……？

シャイな私にとって良かった点は、たくさんの方々に英語で話しかける度胸がついたことでしょうか。石井さんとデビーさんの共同企画「目的を持った交換」は大成功だったと思います。

私の下手な英語に忍耐強くお相手して下さいました多くのキウイの皆様に感謝！！



## Global Exchange Program に参加！

Korolev Club 創立21周年記念

三好 紀子



Korolev はモスクワから6キロ北西に位置するロシア宇宙研究の中核都市、地名はソ連が世界に先駆けて人類を宇宙に送った宇宙科学者の名前になっています。

静かな大学町そして Mission Control Centerをもつ世界宇宙研究の中核をなす市に市民は誇りをもっていますし、関連した仕事に従事する人も多いようです。

9月10日から16日までぎっしり詰まった多彩なプログラムは圧倒的！私たちが十分モスクワと Korolev を見られるように計画されていました。

1日2万歩近く歩いたり、ランチが3時を過ぎるなど最初は驚きでしたがすぐ慣れました。



Farewell Party では昔のロシアの結婚式を再現する民俗村のようなところで、儀式の一部として歌い踊りかつ食べ、また歌い踊り、ambassadorsがスピーチしたりとエネルギー溢れるロシアの方々とはFF会員が一緒になって力強い交流がみられました。

参加者はアメリカ14名、インド2名、イギリス1名、カナダ1名、日本1名の19人でした。

Korolev クラブ員は日本の北海道、長岡などを訪問した方が多くいて、日本がどれほど素晴らしく魅力に富んだ国であるかを私に語り、私には特別親切にさせていただいたと感じています。



受け入れクラブが果たす役割は大きいですね。いま世界は流動的で、厳しい状況にありますが、小さくてもいい、市民交流が基礎になって友情が育ち、世界平和への希求が確固としたものになると実感しました。

# 日本大会実行委員会発足

集おう！彩の国埼玉で 語ろう！明日のFFを

増田 信枝

2016年日本大会の埼玉開催が決定してから、期日を11月12日(土)に決める等の理事会での事前準備を経て、8月2日に第1回実行委員会が開かれました。

当日集まった28名の会員は、日本中のクラブからFFメンバーをお迎えできる喜びと、大きなイベントを創りあげていこうという意欲に溢れ、会場は熱気に包まれました。原田会長の「埼玉クラブは元気の良い活動をしているクラブです。」

日本大会にもみんなの力を結集して全員参加で向かいましょう。」との挨拶の後、大会スローガンが「集おう！彩の国埼玉で 語ろう！明日のFFを」に決まりました。

そして、実行委員長に池田完之さんが選出されたのはじめ、事務局・広報・会計・出し物・懇親会などの各係が決定し、体制が整いました。

これから力を合わせて、埼玉開催の日本大会を創りあげていきましょう。

## 岐阜日本大会に参加して

中島 正子



清流の街でFFの未来を語ろう！のキャッチフレーズの元に、初めて日本大会に出席。前夜祭の鵜飼には残念ながら参加出来ませんでしたが、全体会議始めに岐阜伝統文化の紹介で、長良川鵜匠の杉山秀二氏よりお話と鵜の扱い方の実演があったので興味深かったです。

講演や、代表者会議報告、EDの役割など伺いながら、ブロック内全国クラブ間の交流と協力、高齢者や財政問題など様々な角度から検討しなくてはいい点や全国大会の重要性、またEメンバーシップという言葉は私にとっては初耳でした。

私はFFに入会して一度ベルギーに渡航、二回ホームステイお引受けただけで日が浅いですが、別の三つの国際クラブには長年所属して色々お役をしていますので、皆様のご苦勞や共通した問題点などよく分かります。関東ブロックのFRで私達埼玉クラブの前会長沼純子さんが、危機の時の様に対処して上手く納めたかを伺った時は、とても心強く嬉しかったですし大変誇りに思いました！

翌日月曜は馬籠ツアーに参加、お天気も良く皆様と楽しくお話ししながら、藤村記念館や散策を満喫しました。いよいよ来年は埼玉クラブの出番ですね！また皆様と協力して楽しく有意義な日本大会を成功させたいな～と思っております。



## 関東ブロック会議に出席して

外山 哲代

7月25日、北浦和カルタスホールにて、埼玉クラブ主催による関東ブロック会議が行われた。

関東ブロックは、東京、西東京、マウント富士山梨、埼玉の4つのクラブで構成されている。

埼玉クラブからは、フィールド代表(FR)の沼さんと理事14名が参加した。

FRの活動と各クラブの近況報告、クラブの課題について意見交換が行われた。クラブ共通の話題が多く興味深くうかがった。

東京クラブのメンバーは、東京、神奈川、千葉、

埼玉とエリアが広く、地区ごとに懇親会を行うことや、山梨クラブは、若いメンバーが多く、渡航が難しいが、西東京のステイ中にアンバサダーを1泊受け入れたこと、西東京は、受入れの下見を兼ねて台東区のみぐりんバスに乗った等々、各クラブとも、アクティブに活動をしている様子。

初めて、ブロック会議に出席して、非常に実り多くまた、興味深い会議であることを、実感したと共に他のクラブの方々もFFの会員は皆、親しみやすいという印象を受けた。



## ヴァンクーヴァー世界大会に行ってきました

会長 原田 史



8月28日(金)午後から31日(月)お昼までの3泊4日、ヴァンクーヴァーに滞在して、会長不在の少し盛り上がりかける世界大会に参加しました。

スケジュールはかなりハードなもので、28日夜は歓迎会。29日午前は開会式、午後の2回のワークショップ、夜も自由参加ながら多数が参加したディナークルーズあり。30日午前も8時からの全員のミーティング、9時から2回のワークショップ、午後はやっと自由時間となりました。夜は海を望むコンベンションセンターでのバンケット。31日は7時半から9時までバザーで、私達は東京クラブの売店に便乗して、隅で自家製竹炭を売らせて頂き \$ 14を稼ぎ、9時からは休憩をはさみつつ12時までの閉会式といった具合でした。



FFIのboard議長のセシールさん(女性)を始めとして、スタッフも主催クラブその他の関係者も口々に財政危機を訴え、クラブとして或いは個人としての寄付を呼び掛けること度々。日本からは6つのクラブの20人が参加していましたが、「寄付ねえ」という感じで積極的な反応はなかったと言えるように思いました。

ある意味、大会の核心部分のワークショップは英語能力を考えつつ選ぶことが難しく、いつも頭を悩ませるのですが、「見える物でメッセージを伝える方法」、「新しいクラブモデル(スイスの会長Kurtさんが事例報告者)」などは私の出席したワークショップの中で興味深い物でした。西村純枝さんはダンスを楽しみ、西村介延さんは次世代向けの施策のワークショップが良かった由。

世界大会では懐かしい人々に会えるのが、楽しみです。ウイニペグのValさん夫妻、ロングアイランドのIvan夫妻達、今春受け入れたJaniceなどと感激の再会をしました。



## 新会員紹介

杉本睦子

オリンピックに向けて、少しでも英語を上達させ、皆様と一緒に楽しく世界の方々と交流できるように考えております。皆様宜しくお願いいたします。

竹下朋代

初めまして。今年初めに日進町から土呂町に引っ越して参りました。土呂の英会話スクールで一緒にさせて頂いています、堀切京子さんのご紹介で、入会させて頂きました。様々な国の方の受け入れやFFの方々との出会いなどを通じて、新しいことを色々と吸収できたら嬉しいです。FFの行事などで皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

浜島なつみ

初めまして、入会のきっかけは国際友好フェアにてFF会の活動や雰囲気について知ることができ、皆さまのご縁をいただきました。初参加は「ノルウェー&スイスの料理を楽しもう!」お料理のアレンジは素晴らしく、家庭でも再現が出来るそうです。会の皆さまは若々しく活発な方ばかりでイベントで一緒にするのが楽しみです。これから会の行事や世界と日本の文化交流のツアーにも挑戦していき、お役に立てる事も見つけていきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。



## 今後の主な予定

### 2015年

- 10月31日(日) お楽しみイベントその③ 秋の見沼を歩こう(ウォーキング&ランチ)
- 11月15日(日) 理事会 シーノ7F 講座室3 10:00
- 12月 6日(日) イヤー・エンド・パーティ 与野本町コミュニティセンター 第3・4会議室 13:30
- 12月20日(日) 理事会 シーノ9F 学習室2 10:00
- 第3回日本大会実行委員会 中部公民館 調理実習室 13:00

### 2016年

- 1月17日(日) 理事会 シーノ7F 講座室3 10:00 第4回日本大会実行委員会(場所未定)  
台湾(台中クラブ)渡航準備会(場所未定)
- 1月31日(日) 2016年度総会 与野本町コミュニティセンター 第1・2会議室 13:00
- 2月 台湾(台中クラブ)渡航準備会
- 3月3日~3月9日 台湾(台中クラブ)渡航
- 6月19日~6月26日 ニューカレドニア(ヌメアクラブ)受け入れ
- 11月12日(土) 第28回FF日本大会(埼玉クラブ主催) さいたま新都心:ホテルブリランテ武蔵野

### 編集・発行

ザ・フレンドシップ・フォース・オブ・埼玉 事務局  
〒331-0815さいたま市北区大成町4-202  
TEL:048-664-2723  
発行日:2015年10月